

春日台だより 第50号

～学校教育目標～

すすんで学ぶ人 こころ からだ 精神と身体 건강한人 責任を重んじる人 心豊かであたたかい人

令和7年3月25日
綾瀬市立春日台中学校
校長 吉田 勉

修了式での校長先生のお話を掲載します。

『なぜ勉強をするのか』



みなさん、お早うございます。
このごろは、ずいぶん暖かくなってきましたね。少しずつ、春の訪れが感じられるようになってきました。

さて、きょうは令和6年度のしめくりにあたり、「なぜ勉強をするのか」というテーマで話したいと思います。

12日に行われた卒業式で、私は3年生に「2学期の終業式で話した『思う』ということと、3学期の始業式で話した『やってみる』ということの間には、とても大事な、もう一つやらなければならないことがあります。それは『考える』ということです。」という話をしました。その話が、きょうのテーマ「なぜ勉強をするのか」の答になります。

在校生代表として卒業式に参加した人は聞いていたと思いますが、改めて、ここにいる1,2年生の皆さんに向けて話したいと思います。

将来の自分のなりたい姿を『思う』こと。そして、その思いを叶えられるように何かを『やってみる』こと。

そのためには、どんなことを、どのようにやっていくのか、具体的に見とおしをたてられるように、しっかりと『考える』ことをしなければ、うまくいくことはないでしょう。

では、『考える』ためにはどんなことが必要なのでしょう。それぞれに思い描く幸せを実現するために、必要なことは何なのでしょう。

それは「考えるための基になる知識」、そして「考えたことを、実際にやってみるための技能」を身に付けることです。

つまり、勉強すること、勉強しつづけることが大事なのです。勉強とは、学校で学問を学んで、知識や技能を身に付けることだけではありません。

様々な本や新聞などを読むこと、様々なスポーツや芸術に興味をもってやってみること、ニュースをはじめとした様々な情報に触れ、その内容を読み解くこと、多くの人と関わって、たくさんのお話、議論をかわすことなど、勉強の機会は皆さんの身の回りにたくさんあるのです。

これから先の社会を、自分の力で生き抜いてくために、自分の『思う』姿を実現するために、様々な機会をいかして勉強をつづけ、身に付けた知識や技能を基に、しっかりと『考える』こと。そして、『やってみる』ことを積み重ねていってほしいと願っています。

明日からの春休みの間に、どんな自分になりたいのかをしっかりと思い描いて、そうした自分になるために、どんな勉強を続けていけばよいのかを考えて、令和7年度に臨んでほしいと願っています。